

51

No. 号
2026年7月号
(令和8年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちが、これから活動しようとしている人たちを応援します。



CONTENTS

- P.1 平塚市情報
- P.2 団体レポート「湘南の森」
- P.3 センターレポート・お役立ち情報
- P.4 センター情報・平塚市情報

団体レポート

— 湘南平の景色を支える — 『湘南の森』



平塚市情報

第8回「平塚市みんなのまちづくり事例」募集!!

募集期間 ◆ 令和8年7月24日(金)～9月30日(水)

市民活動団体や自治会・町内会などの地域で活動する団体、事業者、大学等が市内で実施する、地域のさまざまな課題に向かって取り組む活動を募集します。

「年間大賞」を平塚市市民活動推進委員会で選考し、市長表彰します。また、応募いただいた事例は、「平塚市みんなのまちづくり事例集」に掲載します。応募用紙や応募要件は、市ウェブサイトやチラシをご覧ください。 ※右記の応募フォーム(2次元コード)からも応募できます。



● ひらつか市民活動センターのホームページをぜひ
ご活用ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

湘南平の景色を支える『湘南の森』



平塚と大磯にまたがる高麗山は、「21世紀に残したい日本の自然百選」や「日本の森100」にも選ばれている、湘南を代表する自然豊かな場所です。湘南平から見える景色や歩きやすいハイキングコースは、多くの人に親しまれています。その景色を支えているのが、高麗山周辺で森林保全活動を行う「湘南の森」の皆さんです。

今回は活動に密着し、会長の仲手川さんや会員の方々にお話を伺いました。



▲代表の仲手川さん

■「湘南の森」が始まるまで

「湘南の森」の活動のきっかけは、2005年から2006年にかけて行われた神奈川県相模原市で森林整備を行うNPO法人「緑のダム北相模」の呼びかけでした。そこから「荒れた湘南平を何とか蘇らせたい」という思いが広がったことにより、代表者・市議会議員・市民の3名が中心となり第一歩を踏み出しました。

「当時の高麗山公園はハイキングコースこそ残されていたものの、多くの場所がササやアオキに覆われたジャングルのような状態。下草刈りを続け、少しずつ森を整備していった。」と立ち上げ当初から関わっている会員の方は話します。

地道な取り組みは実を結び、それまで埋もれていた展望台やベンチが姿を現し、森には光が差し込むようになりました。もともとあったヤブランやスミレ、アジサイなどの草花も芽吹き始め、森は少しずつ本来の姿を取り戻していったそうです。

その後、森林インストラクターの参加や活動人数の増加により、月1回だった活動は月2回へ発展。2009年には任意団体「湘南の森」として発足し、2012年には平塚市との協働事業も始まり、高麗山公園の森林保全活動を継続しています。



▲当初、アオキやササに隠れていたアジサイが綺麗に咲いている



■森を育て、人を育てる活動

「湘南の森」は、現在33人の会員で活動しており、毎回15～20人が参加しています。下草刈りや伐木作業、植樹などの森林保全活動に取り組み続けていますが、ナラ枯れや鹿による食害といった自然環境の変化に加え、会員の世代交代など組織運営上の課題にも直面しています。こうした課題に対応するため、会では講師を招いた会員向けの学習会や植物園などへの見学会も実施し、会員自身も学びながら活動を続けているそうです。また、外部向けの自然観察会やハイキング企画、小学校での出前授業なども行い、森の魅力や自然の大切さを伝えています。

森を育てるだけでなく、自然について学び、親しむ人を育てることも湘南の森の大切な役割となっています。



▲伐木作業の様子

フジバカマの観察▶



■笑顔あふれる森の活動

「湘南の森」の活動は、想像していた森林整備のイメージとは少し違っていました。森の整備というと、黙々と作業をするものだと思っていましたが、実際の活動現場ではチェーンソーの音の合間に笑い声が響いていました。休憩時には湯気の立つコーヒーを囲み、会話が弾みます。

植物や地形の話になると、誰かが足を止めて説明を始め、周りの人たちが自然と耳を傾けていました。「この植物はこういう特徴がある」「この木は病気になっているかもしれない」など、会話の中には自然についての知識がたくさん詰まっています。

参加のきっかけもさまざまで、ハイキングが好きな人、自然が好きな人、知識を学びたい人など、それぞれの理由で活動に関わっています。「ここでの活動は私にとってストレス発散の場」「ここに集まる人はおもしろい。この地域の自然や歴史について語り合う仲間ができて嬉しい」など、「湘南の森」をきっかけとした出会いを会員の方々は楽しんでいました。参加のきっかけや活動を続ける理由はさまざまですが、自然や仲間との時間を楽しみながら活動している姿が印象的でした。

■活動を通して感じたこと

普段何気なく歩いていたハイキングコースや景色は、当たり前が存在しているものではないことを知りました。その場所を好きになり、守り続けてきた人たちがいます。また、そこには、森を守る活動だけでなく、自然を楽しみ、人と人がつながる時間がありました。

お問合せはこちら ● 湘南の森

活動日 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
月2回(第2金曜・第4土曜) 10:00～15:00

ホームページ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
<https://shonan-mori.sakura.ne.jp/index.html>



センターレポート

第20回 ひらつか市民活動センターまつり
実行委員会が発足しました!

6月12日(金)、11団体11名で実行委員会が発足しました。
実行委員長にはボーイスカウト平塚市連絡協議会の久保田浩巳さん、副実行委員長には
湘南平塚断酒新生会の武田和久さんが選出されました。

11月の市民活動推進月間やセンターまつりに向けて準備を進めてまいります。
実行委員会開催の様子は、センターWebサイト等で発信いたしますのでご覧ください!

実行委員の紹介(団体名のみ・五十音順・敬称略) 11団体 11名

- 医療生協かながわ ●神奈川県傾聴赤十字奉仕団 ●(公社)神奈川県社会福祉士会 湘南西支部
- ガールスカウト神奈川県第2団 ●湘南いきいきリンパの会 ●湘南クリエイターズプロジェクト
- 湘南平塚断酒新生会 ●ナルク横浜 湘南ブロック ●ひらつかウエルネスクラブ
- ボーイスカウト平塚市連絡協議会 ●楽らく吹き矢 湘南なぎさ



お役立ち情報

採択率がグッと上がる!
NPOのための助成金申請のポイント

今号のひらつかの風では、団体アンケートに多かった助成金申請のポイントについて
ご紹介させていただきます。

助成金は、安定した活動を持続するために欠かせない資金源です。しかし「書類を揃えて出すだけ」
では採択は難しく、団体のミッションや社会的価値を明確に伝える準備が必要です。

まずは申請書を書く前に、次の3点を整えておきましょう。

1. 事業計画を具体化する

……「誰のために、何を、どう行うか」を明確にし、目標は期限や数値を含めて設定します。

2. 過去の実績を最新化する

……活動報告書や財務諸表を整え、団体の信頼性を示します。

3. 助成金の目的を調べる

……助成金を出す側のテーマや想いを理解し、自団体のミッションと合う助成金を選ぶことが採択への近道です。



審査員が特に重視する2つのポイント

① 事業内容は「ストーリー」で伝える

申請書では、次の流れを意識すると伝わりやすくなります。

1. 社会課題：今どんな問題があるのか
2. 解決策：自団体はどう取り組むのか
3. 成果：その結果、社会はどう変わるのか

抽象的な表現になりがちな部分ですが、数字や事例
を入れると説得力が高まります。

(例)「昨年100人の子どもに学習支援を提供し、
満足度95%を達成」

② 予算計画は「根拠」を明確に

「一式10万円」のような表現は避け、
【単価×数量】で示します。

(例)講師謝金「1回5万円×12回=60万円」

また、助成金だけに頼らず、寄付や事業収入も含
めた資金計画を提示すると「持続可能な団体」として
評価が高まります。

よくある失敗と回避策

◆大きすぎる申請額

→ 過去の実績と整合性のある金額に抑える

◆専門用語が多い

→ 業界を知らない人でも理解できる言葉で書く

◆締め切りギリギリの提出

→ 2週間前の完成を目指して準備する

採択後こそ信頼構築のチャンス

助成金は採択されて終わりではありません。定期的
な報告を丁寧に行うことで助成元との信頼関係が生ま
れ、次回申請にもつながります。また、活動の様子を
SNSや報告書で発信することは、新たな寄付者や支援
者を増やす機会にもなります。

誠実な申請は、未来のファン
を増やす第一歩です。



■助成金申請についてお困りのことがありましたら、遠慮なくセンターまでご相談ください。

センター情報

●団体活動にお役立てください!

「ご縁のえんがわ」

やりたいこと&やっていることを持ち寄って、話して聞いてつながる場。偶数月の最終火曜日に開催します!どなたでもご自由にお越しください。参加無料。スタッフがセンターのえんがわでお待ちしています♪

日時●8月25日(火) 18:00~19:00

場所●ひらつか市民活動センター ミーティングスペース



「協働事業の振り返りと成果共有会」~協働のこれまでとこれから: 新たな一歩をともに踏み出すために~

平塚市の提案型協働事業について、これまでの成果を振り返り、協働の意義や原点を共有し、次の時代に求められる仕組みや対話のあり方を考え、未来に向けた新たなスタートを切るきっかけとします。

日時●8月28日(金) 14:00~16:30

場所●ひらつか市民活動センター 会議室AB 定員●50名(参加無料)



「防災座談会」

毎年実施している防災座談会。今回は昨年実施した団体アンケート結果をもとに、防災連携の仕組みづくりについて団体の皆さんと共に考えていきたいと思います。

日時●9月30日(水) 14:00~16:00

場所●ひらつか市民活動センター 会議室AB 定員●40名(参加無料)



第20回 ひらつか市民活動センターまつり開催日決定!!

開催日時●11月29日(日) 10:00~15:00

6月12日(金)第1回センターまつり実行委員会を発足し、上記日程で開催することが決まりました。登録団体の皆様の出展のお申込みをお待ちしております。

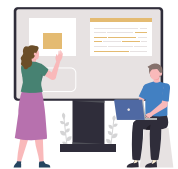
※尚、11月は市民活動推進月間として、市民活動に関する情報発信をより強化していきます。



平塚市情報

●『平塚市市民活動推進補助金審査会 活動報告会』を開催しました

5月9日(土)午後2時からひらつか市民活動センターで令和7年度助成事業活動報告会を一般公開にて開催しました。令和9年度の平塚市市民活動推進補助金は12月頃に募集予定です。応募等のお問い合わせは平塚市協働推進課までご連絡ください。



入門コース

- ①【子どもの居場所 学習支援 金田の寺子屋】…子どもの居場所 金田の寺子屋
- ②【明るい未来をつなぐ地域の和(輪)の居場所 “さくらこども食堂”】…しのみやさくらの会

発展コース

- ①【ポッチャインクルーシブプロジェクト】…一般社団法人 F-STYLEスポーツクラブ
- ②【平塚市民の心と身体を柔道で元気に、国際交流の場を広げたい】…認定特定非営利活動法人 JUDOS
- ③【中勘助平塚居住100周年記念事業 第二弾『しづかな流』市民による手書復刊プロジェクト】
…平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会

事業内容等は
こちら



https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html

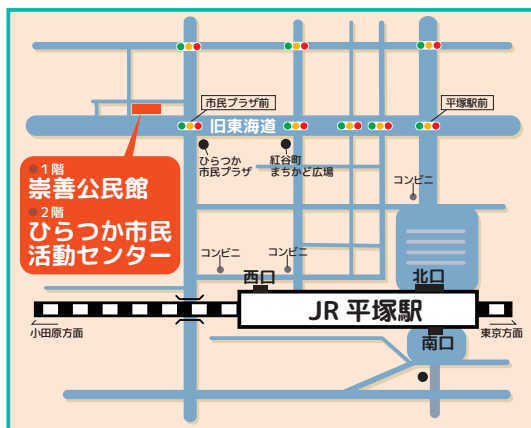
編集後記 / スタッフ紹介

デザイナー ◆岩瀬 亜実

美大卒業後、広告代理店を経てフリーランスとなる。
趣味は音楽鑑賞・ドライブ・サッカー観戦など。
食べることと海を見るのが大好きです。



「ひらつかの風」のデザインを担当させていただいてから早いもので51号目となりました。デザインをする際に読む団体さんの活動の様子からはいつも活力をいただいております、それを読者の方々へできる限りわかりやすく伝えるようにデザインすることを心がけております。



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ●0463-31-7571

FAX ●0463-35-6601

Eメール ●info@hiratsuka-shimin.net

URL ●<https://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2026年6月15日現在)

登録団体数 ●458 団体

(内訳 市民活動団体…325 団体、一般団体…133 団体)

